



長野県議会議員
—改革信州—

さとう千枝県政レポート

東御市滋野乙 2467番地 TEL:0268-71-0557 FAX:0268-71-0568 mail:satouchie.office@gmail.com



長野県議会



新年あけましておめでとうございます

激動する国際情勢や多様化する社会課題が続
く中、対話と協働の重要性を改めて感じる一年で
した。2026年が誰もが安心して暮らせる公平
で持続可能な社会となりますよう、尽くしてまい
ります。皆様とともに進んでまいりましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

11月定例県議会

令和7年11月27日から
12月12日(会期16日間)

1 令和7年度11月補正予算

11月補正予算・11月追加補正予算とともに可決しました

『県民の命と暮らしを守るツキノワグマ対策』総合パッケージ1.0を実行するとともに、医療・介護等提供体制や教育環境の整備、原料米価格高騰への対応などに必要な補正予算を編成

補正予算額

一般会計 64億93358万6千円
(債務負担行為) 101億9336万5千円

ツキノワグマ対策の推進

3251万2千円

・ツキノワグマによる人身被害ゼロを目指し、きめ細かな情報発信を展開するほか、市町村におけるゾーニング管理導入を支援

医療・介護等提供体制の整備

1億3169万2千円

・木曽地域における安心・安全な出産環境を整備するため、遠方の分娩取扱施設等を利用せざるを得ない妊産婦の方に対する交通費支援の拡充等を実施
・D-WAT(災害派遣福祉チーム)の体制強化に向け、災害拠点福祉施設を指定し、資機材を整備
・介護施設における介護ロボットやICTの導入を補助し、介護現場の生産性向上を支援

教育環境の整備

10億8128万9千円

・県立高校における学習環境を改善するため、夏季に使用する特別教室等へエアコンを設置
・清泉大学(仮称)農学部の設置を支援するため、施設・設備整備費を助成

原料米価格高騰への対応

2億9052万円

・原料米価格高騰の影響を受け、経営改善に取り組む事業者を緊急的に支援するため、県産加工用米等の購入費用を補助するため、劣化した舗装や不鮮明な区画線補修工事等を前倒して実施

県民生活の安全・安心の確保

(債務負担行為)

・春夏の観光シーズンに向け、安全で円滑な道路環境を確保するため、劣化した舗装や不鮮明な区画線補修工事等を前倒して実施

2 令和7年度11月補正予算(追加分)

物価高で生活にお困りの方への支援

4億6595万7千円

・低所得のひとり親世帯を支援するため、児童一人当たり1万円の特別給付金を支給

・生活にお困りの方に対し、まいさぽでの相談を通じ生活必需品やLED照明を配布

・近年の猛暑による熱中症リスク増加を踏まえ、住民税非課税世帯のエアコン設置費を補助

食料品の価格高騰対策

2億1996万9千円

・物価高騰で家計が苦しくなっている子育て世帯等に向けたフレードバンク団体の食料品等配布を拡大

・長引く食料品の価格高騰で生活にお困りの方に対し、引き続
きまいさぽでのきめ細かな相談支援を実施するとともに、
ふーさぽにおいて食料支援を実施し、物価高騰下で
も安心して過ごせる居場所を確保

エネルギー価格高騰対策

30億5498万3千円

・寒さの厳しい冬の間の家計負担を軽減するため、LPGガス利用者に対し一契約当たり2千円の料金支援を実施

・国の支援策と基調を合わせ、特別高圧を受電する中小企業者等に対し電気料金の高騰分を支援

医療・介護分野等の賃上げ・物価上昇対応支援

70億7954万2千円

・医療機関や薬局、介護事業所・施設、障害福祉サービス事業所等における従事者賃上げを支援するとともに、物価上昇の影響に対し支援

3 議員提出議案可決(13項目)

- ① こども誰でも通園制度の安定的な運用の実現を求める意見書
- ② 地方大学への財政支援の拡充を求める意見書
- ③ 医師の確保対策の充実を求める意見書
- ④ OTC類似薬の患者負担に係る慎重な議論を求める意見書
- ⑤ 広く国民の意思を反映した衆議院議員選挙制度の実現を求める意見書
- ⑥ 暫定税率の廃止に伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書
- ⑦ 特別支援教育コーディネーター専任化の推進を求める意見書
- ⑧ 地域におけるバス路線の維持・確保に向けた支援の強化を求める意見書
- ⑨ 難病医療費助成制度に係る申請手続の簡素化に向けた支援の求め
- ⑩ 多文化共生社会形成に向けた支援の強化を求める意見書
- ⑪ オンライン診療の推進に向けた環境整備を求める意見書
- ⑫ 巨大災害発生に対する連携体制の強化を求める意見書
- ⑬ 重点支援地方交付金の拡充を通じた地方創生の実現を求める意見書

産業労働部・観光スポーツ部・企業局委員会審査(概要)



8日 産業労働部

「県産加工米等の価格高騰対策について」

【佐藤】県産加工米の仕入れ価格高騰に伴い、購入費用の一部を補助する事業であるが、事業継承やブランド力向上・市場開拓の取組も必要と考えるがどうか。

【中谷地酒・食品振興担当課長】

補助の要件として改善計画を立てることになっている。販路の拡大や作業の省力化を通じて、事業の継続に向けて何らかの取組をお願いしている。ナンバーワンプロジェクトにより若手の蔵人に対する事業継承や販路拡大に向けて、県が事業を組んで研修を行っている。

【佐藤】宿泊税の使途の検証に当たる徴収義務者を巡回させ、成果の検証を行う仕組みを構築されたい。

【若林山岳高原観光課長】

宿泊税の使途の検証に当たる徴収義務者を巡回させ、成果の検証を行なう仕組みを構築されたい。

10日 観光スポーツ部

「宿泊税の使途の検討について」

今では18万人台に減少している。確かに給水戸数は8万1500戸と増加であり、年間300戸から400戸程度増加している。一方給水量は減少傾向になり、一般家庭のひと月給水量は平均16m³である。

他、上田・長野地域水道事業広域化の取組み状況を質問。

【丸山水道事業課長】

給水人口は19万人程度から昨



